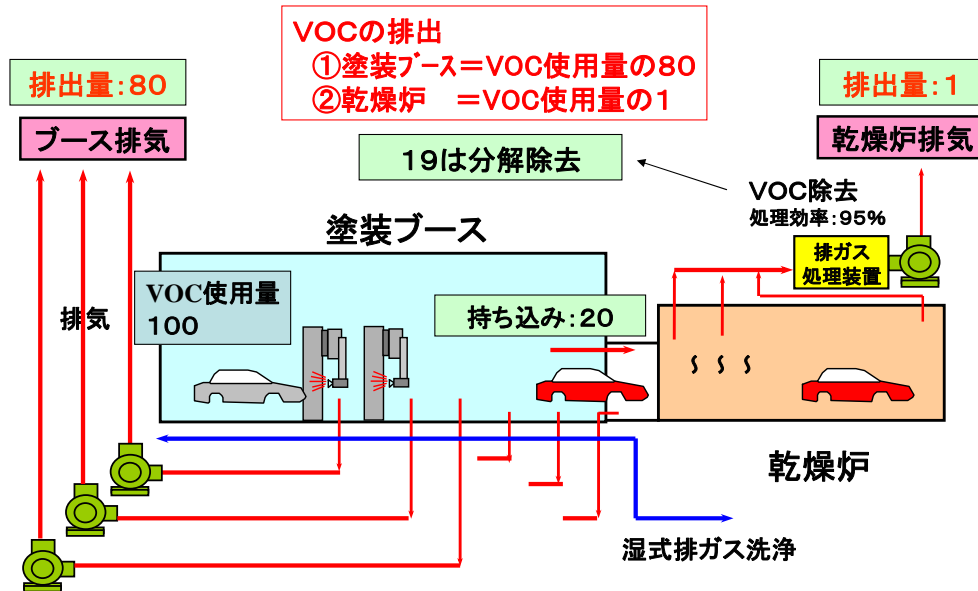


VOC 排出施設の排出形態

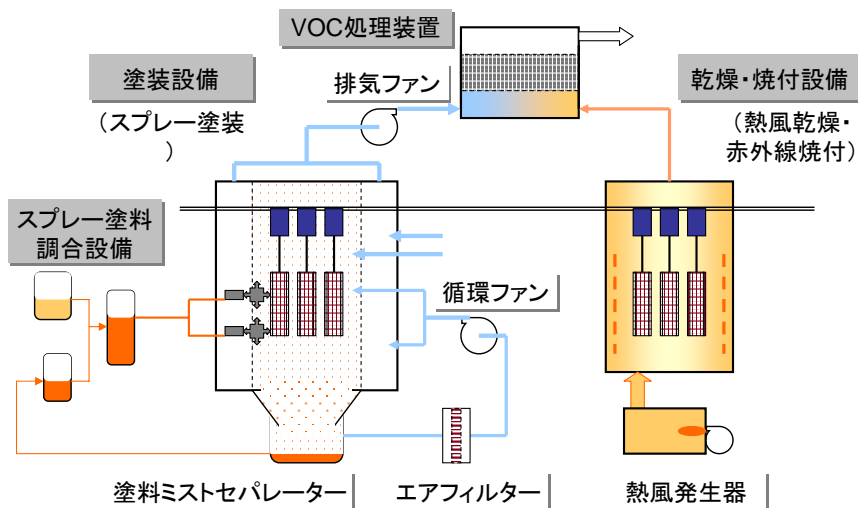
施設	排出口形態	排ガス濃度の変動	排気温度、水分 (排ガス無処理の例)	防爆対応
塗装及びその乾燥施設	ダクト排気による換気扇による排気が事例がある。	排ガス濃度変動は少ない。	温度：120℃前後（乾燥） 水分：室内空気ベース	防爆対応が必要
印刷及びその乾燥施設	ダクト排気による。	排ガス濃度変動は少ない	温度：70℃前後（乾燥） 水分：室内空気ベース	防爆対応が必要
接着及びその乾燥施設	ダクト排気による。	排ガス濃度変動は少ない	温度：100℃前後（乾燥） 水分：室内空気ベース	防爆対応が必要
化学製品製造の乾燥施設	ダクト排気による。	連続式の場合排ガス濃度変動は少ない。 バッチ式の場合は稼働時に高濃度排ガスがでる	温度：100℃前後（乾燥） 水分：通常、水分は低い。	防爆対応が必要
洗浄及び乾燥施設	ダクト排気による。	排出ガス濃度の変動幅が大きい	温度：常温 水分：室内空気ベース	炭化水素による洗浄施設については防爆対応が必要
貯蔵施設	固定屋根式貯蔵施設ではベントロが排気口となる。	呼吸ロスは一日の温度変化で周期的に変動	温度：常温 水分：空気ベース	防爆対応が必要。 受入時の濃度は発火点濃度を超える。

揮発性有機化合物排出施設のVOC排出形態の事例

自動車製造工程の塗装及び乾燥焼付施設と排出形態



塗装設備(電気工業会)の排出形態



船舶塗装工場の排出形態



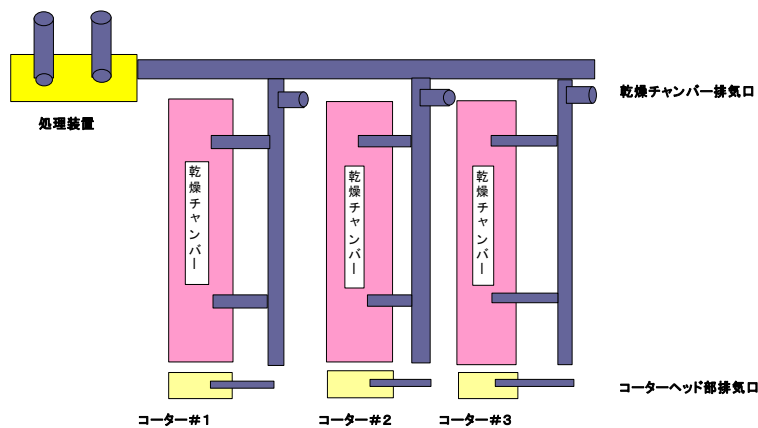
軟包装グラビア印刷工場の排出形態 (製版+印刷+ラミネート+製袋)



排気口群(印刷機械ごとの排気口)

接着及び乾燥施設のVOC排出形態

ゴム糊引布のコーター施設例

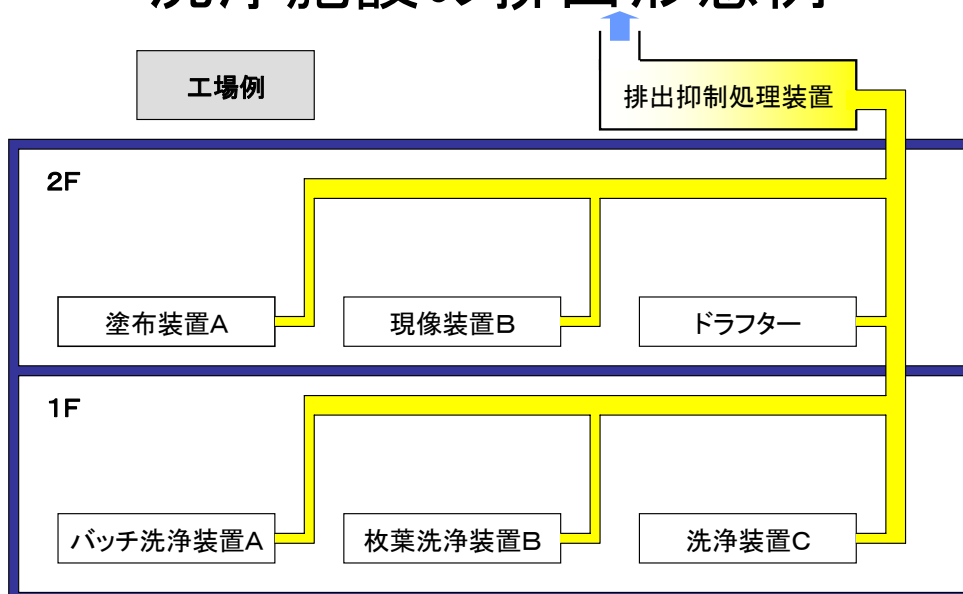


回収装置は、規模の大きい施設(200トン以上)は既に設置されている。

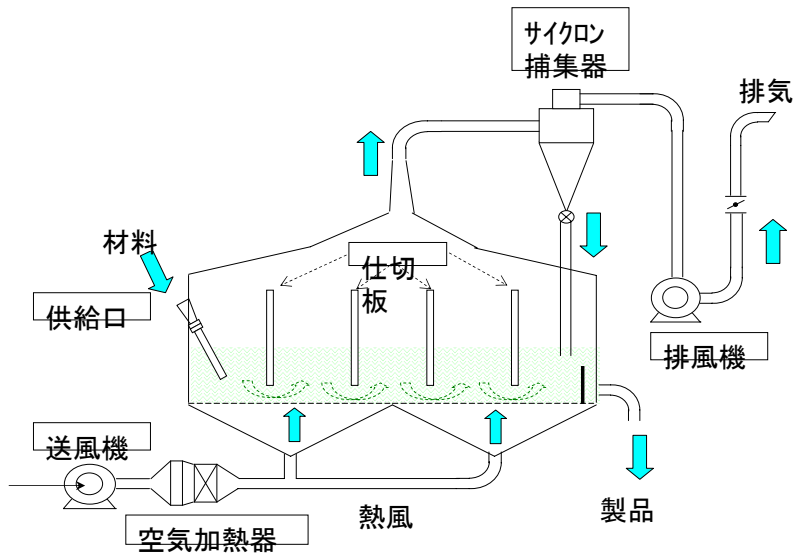
<処理効果例> 処理装置入口濃度: 800~1600ppm(500m³/min)

処理装置出口濃度: 50~100ppm

洗浄施設の排出形態例



化学製品の乾燥施設(流動層乾燥機)の排出形態



貯蔵施設からのVOC排出の実態

原油、ナフサ、ガソリンを貯蔵する固定屋根式タンクが主体

- ・浮屋根式構造のタンクはVOCの排出ほとんどない
固定屋根式タンクの0.1%程度(=1000分の1)の排出量
- ・灯油より初留点の高い油種からの排出はほとんどない
灯油(初留点150℃以上)はガソリンの0.1%程度の排出量

